令和４年度モニタリングシート

【施設名等】

施　設　名	おおず赤煉瓦館	位　置	大洲市大洲 60 番地
指定管理者名	一般社団法人 キタ・マネジメント	所管課	観光まちづくり課

【施設の概要】

設置年月日	平成 3 年 3 月 30 日	構　造	本館　鉄骨造外壁煉瓦仕上２階建 別館　煉瓦造 2 階建 倉庫　煉瓦造 2 階建
設置目的	市民及び観光客の憩いの場、情報及び文化の交流の場を提供し、地域文化の高揚及び地域産業の振興に資する。		
施設機能	本館　1 階　物販コーナー・トイレ・受付等 　　2 階　休憩コーナー・トイレ等 別館　煉瓦資料室、展示室等 倉庫　1 階トイレ、2 階倉庫		
利用料金等	施設使用料（本館 2 階：１時間につき 420 円 他)、物販等販売品売上		
開館・閉館	午前 9 時～午後 5 時 ※12 月 29～31 日の 3 日間は休館日		
指定管理 業務内容	(1)　施設及び設備等の管理運営に関すること (2)　施設、設備及び備品の修繕等に関すること (3)　施設の利用許可及び利用料金等の収受に関すること (4)　施設の利用促進に関すること (5)　その他管理運営上で必要な業務		
施設管理体制	平日 2 名、土日祝 3 名		

【施設利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
R3 年度	1,102 人	66 人	1,557 人	2,503 人	2,699 人	2,650 人
R4 年度	3,023 人	5,208 人	2,277 人	2,929 人	4,643 人	2,598 人
比　較	+1,921 人	+5,142 人	+720 人	+426 人	+1,944 人	▲52 人

10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
3,400 人	3,242 人	1,965 人	1,512 人	1,220 人	2,616 人	24,532 人
3,253 人	4,297 人	2,841 人	1,907 人	2,374 人	3,198 人	38,548 人
▲147 人	+1,055 人	+876 人	+395 人	+1,154 人	+582 人	+14,016 人

【指定管理者としての収入・支出（決算）】　　単位:円(税抜)

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理受託料収入	7,332,732	仕入高	7,959,153
使用料収入	269,351	人件費	6,339,542
物販売上収入	7,096,390	水道光熱費	1,513,516
その他収入	3,494,891	通信費	353,901
		消耗品費	776,608
		修繕費	215,047
		その他経費	1,229,732
		減価償却費	43,663
合　計	18,193,364	合　計	18,431,162

【サービス向上に向けた取り組み】

R3 年度	・定期的なミーティングでサービスの質の維持と向上 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の実施 ・施設の美化推進 ・施設活用推進のための情報発信
R4 年度	・定期的なミーティングでサービスの質の維持と向上 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の実施 ・施設の美化推進 ・施設活用推進のための情報発信 ・認定案内人によるスタッフ研修 ・定期的なイベントの開催

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
①コロナウイルス感染対策ができているのか。	①施設館内の消毒チェック表を作成し、1 日 5 回以上の定期的なアルコール消毒の実施
②煉瓦館のパンフレットを送ってほしい。	②観光パンフレットと、周辺の地図を郵送。おすすめの観光場所なども案内する。
③外庭の枝が勝手に切られている。	③観光まちづくり課と造園業者に相談。緊急性が低く早急な対応にはいかないものの、警備や監視などを強めた。
④外庭煉瓦壁のツタが隣の家まで伸びている	④速やかに造園業者に連絡し剪定した。近隣住民への配慮が欠けていたということで、今後同じことが起きないように努める。

【指定管理者の自己検証】

新型コロナウイルスの規制緩和などもあり、貸館業務を積極的に行うことができた。
それにより、定期的なマルシェイベント開催、シャドーボクシングなどの教室利用の依頼などもあり、集客と収益の増加に繋がった。

また、貸館利用とは別で季節の自主イベントを増やすことができた。
春は鯉のぼり、夏はかき氷、秋は浪漫祭、冬はキャンドルナイトといったイベントも開催でき、その中でも今後も継続して開催できるイベント等に繋がるものもできたので、来年度以降のブラッシュアップを図っていきたいと考える。

自主事業のかき氷は非常に多くのお客様に来訪に繋がることとなった。
しかし、来年度以降は自主事業者の移動により、開催は難しくなっている。
かき氷目的で来訪していたお客様の売上や来訪者の減少を抑えるべく、施策やイベント等を積極的に実施していきたい。

【施設所管課の検証・評価】

法定点検や報告をはじめとした施設管理については概ね良好であり、仕様書等に基づいて適切な管理運営が行われている。地元住民が参加しやすい教室を貸館として赤煉瓦館で実施していただくことで、住民の方も気軽に赤煉瓦館を利用できるようになっている。季節ごとのイベントも開催することで観光客も取り込み、今後さらに市民・観光客の憩いの場・交流の場を提供できるようブラッシュアップを図っていっていただきたい。

今まで赤煉瓦館の PR に寄与し、貴重な収入源となっていたかき氷の開催が難しくなるが、それに代わる施策やイベント等を近隣事業者と協力し積極的に実施していくことで、誘客促進や売上、観光客の満足度向上につなげていってほしい。